



上下水道局

要求総額 98,623百万円

(対前年度 +4.3%)

収益的収入 50,423 百万円

収益的支出 52,642 百万円

差引 ▲2,219 百万円

単年度資金収支 ▲1,991 百万円

【令和7年度 予算要求の方針】

上下水道局では、令和3年3月に策定した「上下水道事業基本計画 2030（計画期間：令和3～12年度）」及び「上下水道事業中期経営計画 2025（計画期間：令和3～7年度）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費節減や増収対策など、経営基盤の強化に努め、「お客さまに信頼される上下水道」を目指します。

具体的には、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組むとともに、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組みます。

(単位：百万円)

	予算要求額		収益的収支			単年度 資金収支
		前年度比	収入	支出	差引	
水道事業	37,513	4.8%	20,176	21,611	▲1,435	▲1,068
水道用水供給事業	3,345	113.8%	1,095	1,005	90	2
上水道事業	40,858	9.4%	21,271	22,616	▲1,345	▲1,066
工業用水道事業	4,175	▲9.0%	2,069	1,990	79	▲24
下水道事業	53,590	1.8%	27,083	28,036	▲953	▲901
計	98,623	4.3%	50,423	52,642	▲2,219	▲1,991

【令和7年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業、⑩：拡充事業

⑩ 「稼げるまち」の実現 要求額 3,603百万円 (対前年度 +149.3%)

上下水道事業の広域連携の推進や官民連携の海外水ビジネスを展開し、国内外への貢献を行うとともに、資源の有効利用などを推進し、収益確保を図ります。

- ・行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進

- ⑩ 企業進出に伴う下水道の整備
- ・企業進出に伴う工業用水道の整備
- ・インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開

⑨ 「安らぐまち」の実現 要求額 12,684百万円 (対前年度 +13.2%)

上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

- ・震災対策の拡充・強化
- ・豪雨対策の拡充・強化
- ⑨ 上下水道一体となった地震対策
- ⑨ 若松ポンプ場の整備

⑨ その他の取り組み 要求額 19,045百万円 (対前年度 +7.8%)

水環境の向上や、資源の有効利用などによる環境負荷低減を推進します。また、DXの推進にも取り組み作業の効率化を図ります。

- ・上下水道施設の長寿命化と改築・更新
- ・省エネルギーの推進
- ・危機管理体制の充実・強化
- ・外郭団体等との連携強化
- ・水質管理体制の充実
- ・衛星画像とAIを活用した漏水調査
- ・水質監視強化
- ⑨ 下水道台帳維持管理システムの再構築

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和7年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

No	新規 拡充	事業名	事業費	一般財源	事業概要及び模様替えの考え方
「稼げるまち」の実現					
1		行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進	1,879,535	0	行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量により、経営基盤強化を図る。 ※本市水道事業の固定費負担軽減額は、令和7年度、年間約0.5億円、令和18年度以降、年間約1.9億円
2	拡	企業進出に伴う下水道の整備	650,000	0	若松区など、企業進出に伴い新たな排水を見込む地区に下水道整備を行い、企業活動の基盤を整え、あわせて使用料収入の増加を図る。
3		企業進出に伴う工業用水道の整備	916,735	0	若松地区において、企業進出に伴い新たな工業用水の使用を見込む地区に配水管を整備し、企業活動の基盤を整え、あわせて使用料収入の増加を図る。
4		インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開	156,699	0	国際技術協力で獲得した相手国との信頼関係を活用し、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業が実施する海外水ビジネスを支援する。 ※会員企業の累計受注実績は、平成22年以降、約275億円
「彩りあるまち」の実現					
該当なし					
「安らぐまち」の実現					
5		震災対策の拡充・強化	9,384,101	0	地震等の災害被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した施設の耐震改修やバックアップ機能の強化などを実施する。
6	新	上下水道一体となった地震対策《再掲》	20,000	0	能登半島地震を受け、上下水道一体で管路等の耐震化の重要性が認識されたため、上下水道システムの急所施設（その施設の機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）や、重要施設（災害拠点病院、避難所等）に接続する上下水道管路等の一体的な耐震化計画を策定する。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

No	新規 拡充	事業名	事業費	一般財源	事業概要及び模様替えの考え方
7		豪雨対策の拡充・強化	2,870,000	0	近年の局地的、集中的な豪雨に起因する浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図るため、雨水管等を整備する。
8	新	若松ポンプ場の整備《再掲》	890,000	0	老朽化が著しい3つのポンプ場を統廃合し、雨水排水能力の向上や耐震化、耐水化などの機能を兼ね備えたポンプ場の整備に着手する。
その他の取り組み					
9		上下水道施設の長寿命化と改築・更新	16,799,221	0	上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進める。
10		危機管理体制の充実・強化	417,420	0	気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保していく。
11		水質管理体制の充実	28,393	0	水道水の水質管理体制を充実するため、水質検査技術の向上に努めるとともに、社会情勢に応じた検査体制を構築する。
12		水質監視強化	35,394	0	下水道施設の保全や浄化センターの安定的な運転を目的として、下水処理に影響を及ぼす物質の監視強化を図る。
13		省エネルギーの推進	90,000	0	電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、省エネ設備の導入などにより省エネルギー対策を実施する。
14		外郭団体等との連携強化	1,358,992	0	外郭団体（（株）北九州ウォーターサービス）との連携を強化するとともに民間事業者の活用を図り、発展的広域化を推進する。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

No	新規 拡充	事業名	事業費	一般財源	事業概要及び模様替えの考え方
15		海外事業の展開 《再掲》	156,699	0	SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成に寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組み、協力関係で培った信頼や人的関係を活用し、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業が実施する海外水ビジネスを支援する。
16		衛星画像とAI を活用した漏水 調査	29,480	0	人工衛星から照射されるマイクロ波で、漏水箇所を判定する技術を用いた漏水調査の実証実験を行う。
17	新	下水道台帳維持 管理システムの 再構築	129,000	0	老朽化施設の加速度的な増加や、近年頻発する災害等に対応するため、下水道分野におけるデジタル技術の活用基盤を再構築し、業務の効率化やDXの推進を図る。